

# 生産技術への応用を目指した レーザプロセス技術の開発

小型の燃料電池用セルを作るための技術（生産技術）への応用を目指して、電極や電解質の粉末にレーザ光を照射し、それらの膜が必要な部分にのみ膜を形成する技術の研究開発を行っています（下の図参照）。

また『低環境負荷型の実装技術』として金属粒子にレーザ光を照射して微細配線などを形成する技術の研究開発を行っています。

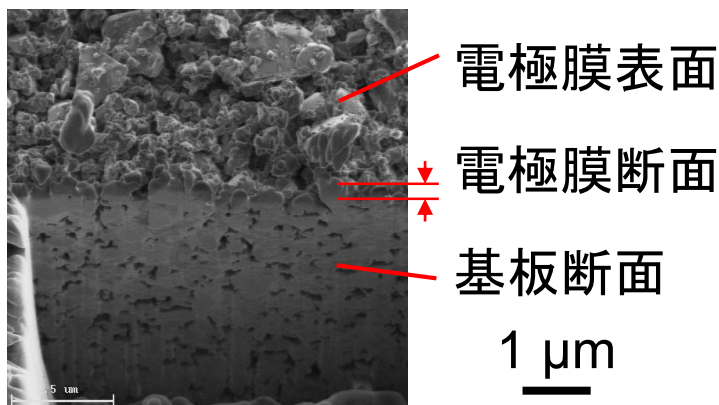


図 レーザ光を照射して形成した燃料電池用電極膜の顕微鏡写真：膜の断面を拡大して観察

キーワード レーザ加工、微細加工

分野 生産工学、高密度エネルギー加工学